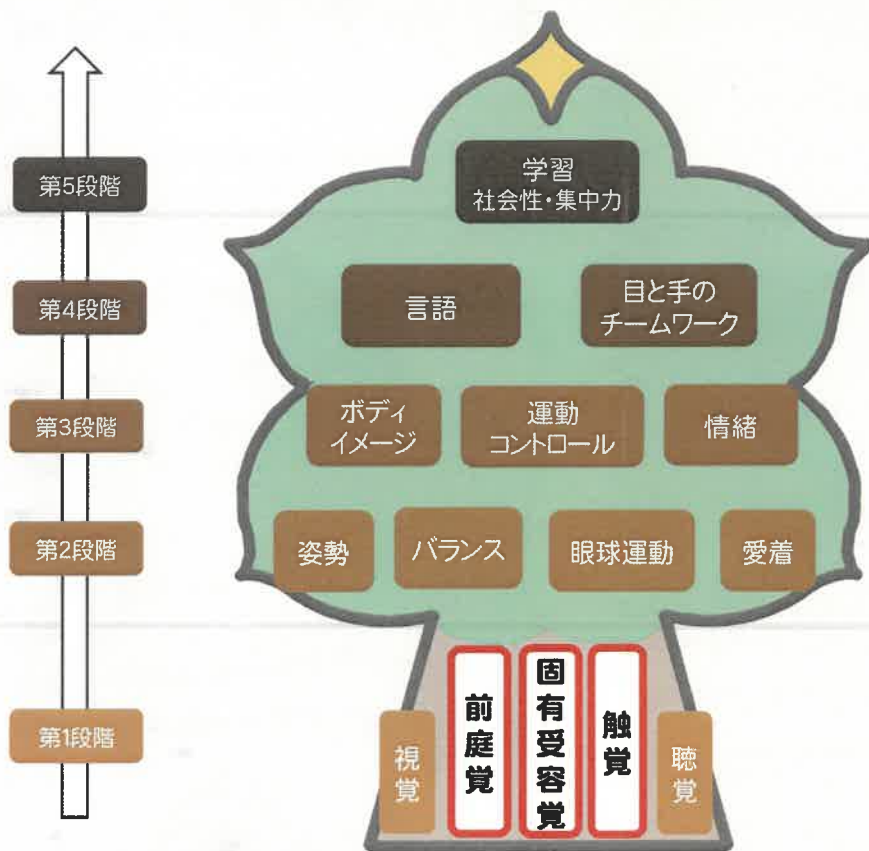


「もり」の記憶は 「生きぬく力」へ



子どもの発達には段階があり、多様な経験を積み重ねて成長していきます。この『発達のピラミッド』の土台につまづきがあると、全体がアンバランスになって発達の凸凹が生じやすいです。この土台となる感覚にアプローチしていくことが必要だと考えています。

支援内容

個別療育

1対1でお子さん1人ひとりの能力に合わせたプログラムを行い、発達を支援します。
個々の強みを伸ばしながら、課題解決へのアプローチをしていきます。

小集団

ルールのある遊びなど人とかかわる活動を設定し、社会性やコミュニケーション能力の発達を支援します。同じ遊びを共有する中で「一緒にやってみよう」「まねしてみよう」という気持ちを育てていきます。

親子支援

親子で通所し、一緒に療育に参加して育ちや困りを確認しながら、お子さんに合わせたかかわりや遊び方を支援していきます。お子さんの成長を間近で感じられ、不安なことがあれば気軽に職員へ相談することができます。

保育所等訪問支援

専門の職員が園に訪問し、集団生活に適應できるよう、お子さんの様子や周囲の状況に合わせて直接支援をしたり、環境やかかわりの工夫と一緒に考えていく支援を行います。

ニタイでは、保育士、作業療法士、児童指導員がたくさんの遊びを用意して待っています。遊びは子どもにとって、学びとなる必要不可欠なものです。大人が一方向的に「させる」のではなく、お子さんの「**やってみたい**」の気持ちをもとに遊ぶ中で「できた!」「楽しかった!」の思いを積み重ねていってほしいと思います。

「楽しい」かつ「ちょっと難しいけどやってみたい」活動で得られる達成感が、脳の発達に1番効果があると言われています。子どもたちの自主性や好奇心を大切にしながら、遊びを通して発達・成長を促していきたいと考えています。

